

2024年
10~12月

サプライチェーンセミナー 2024秋 ~デジタル化による革新と強靱化~

開催日時：2024年11月6日(水)～7日(木)予定

申込締切：2024年8月30日(金)



開催概要

名称	サプライチェーンセミナー 2024秋 デジタル化による革新と強靱化	事前申込者数	想定300名
主催		来場数	想定180名
開催日時	2024年11月6日(水)～ 7日(木)予定	想定視聴者属性	製造業の調達や物流部門 サプライチェーン担当者 その他モノづくり関連職
申込締切	2024年8月30日(金)	告知・集客	
イベント形式	集合型オンラインセミナー	運営	アイティメディア株式会社

※本内容は予告なく変更または実施を中止する場合がございます。あらかじめご了承ください。ご不明点等は営業担当までお問い合わせください。

| 概要

デジタル化によるサプライチェーンの革新と強靱化

製造業が抱えるサプライチェーンの課題と、レジリエンスを重視した既存のサプライチェーンの見直し、デジタル技術活用の推進などについて講演を通じて発信し、製造業のサプライチェーンの課題解決の一助になることを目指します。

| キーワード

サプライチェーンのレジリエンス

サプライチェーンの見える化

サプライチェーンのリスクマネジメント

サプライチェーンのデータ基盤

需要予測

需要／供給ギャップのコントロール

BCP

Logistics 4.0

物流の最適化

フリートマネジメント

トレーサビリティ

| 視聴者の抱える課題

- サプライヤー
 - 資材・部品の供給
 - 在庫管理
 - 物流・輸送
 - プロセスの効率性と改善
 - リスク管理
- など

企画趣旨

昨今のコロナウィルスや社会情勢などによる、資材高騰、調達問題などは、未だに製造業界に深い爪痕を残したままです。サプライチェーンに、テクノロジーを有効活用する重要性については、2024年現在も高まり続けています。

2023年に経済産業省・厚生労働省・文部科学省が公開した「ものづくり白書」では「製造業を取り巻く環境の変化」と「製造業のビジネス環境の変化」について触れ、サプライチェーンの最適化が必要と記しています。

昨今の新型コロナウイルスや、社会情勢による予測困難な事象に対して、日本の製造業は、対応力が高いレジリエントなサプライチェーン管理が求められており、その実現のためには、IoTやAIなどを含むデジタル技術の有効活用が求められ、「サプライチェーンのデジタルツイン化」「デジタルサプライチェーンプランニング」など、製造業にとってサプライチェーンレジリエンスの取り組みは、待ったなしという状況といえるでしょう。

個社単位の「デジタル技術の活用」対策はもちろんですが、「調達先の把握、生産拠点の変更・拡充」「活用するための体制づくり」と行ったサプライチェーン全体での取り組み、強靱化も同じく求められています。

本セミナーは製造業が抱えるサプライチェーンの課題と、レジリエンスを重視した既存のサプライチェーンの見直し、デジタル技術活用の推進などについて講演を通じて発信し、製造業のサプライチェーンの課題解決の一助になることを目指します。

【参考】2023年 ものづくり白書 <https://www.meti.go.jp/report/whitepaper/mono/2023/pdf/gaiyo.pdf>

・経営幹部は**サプライチェーンに関する基本的かつ目先の優先事項と課題の方に重点を置いており、サプライチェーン改革に役立ち、長期的な価値を創出するような活動や投資にあまり目を向けていません。**

・豊富なテクノロジーやその可能性にもかかわらず、今後24カ月の間でサプライチェーンのさまざまな領域の業務の実行を自動化し、強化するためにテクノロジーを活用している、もしくは活用しようとしていると回答した経営幹部はほとんどいません。

サプライチェーンのテクノロジーへの投資に際する最大の目的が、レジリエンスの向上であると回答した経営幹部は、約1/3にすぎません。

サプライチェーンのリスクについては、86%が自社のテクノロジーにさらに投資しリスクを特定、追跡、測定する必要があることに同意しており、35%は強く同意しています。

2/3以上の回答者が**サプライチェーンのデジタル化によって、従業員がなんらかのスキルアップをする必要があると考えています。しかし、デジタルに関するスキルアップが最優先事項であると回答したのは、驚くことに、わずか7%です。**

従業員のデジタルスキルの欠如（80%）と、データおよびデジタルツールの可用性（73%）は、サプライチェーンにESGを統合するうえで最もよく挙げられた課題でした。

デジタル技術の活用により、「**サプライチェーン全体の効率化**」や「**新たなサービスの開発**」などを実現できるソリューションをお持ちのベンダー様には、是非この場で製造業読者の方へ、ソリューションの特徴、実現できることをPRしていただければと思います。

【参考データ】テクノロジーによるサプライチェーンの変革はどの程度進んでいるのか？

PwC サプライチェーンのデジタルトレンド調査 2023

<https://www.pwc.com/jp/ja/knowledge/thoughtleadership/digital-supply-chain-survey2023.html>

より文章を流用、引用しております。



Q サプライチェーンのテクノロジーへの投資が期待した成果を十分にもたせなかった場合、その主要な原因を挙げてください。
出典：PwC サプライチェーンのデジタルトレンド調査 2023（回答数305）

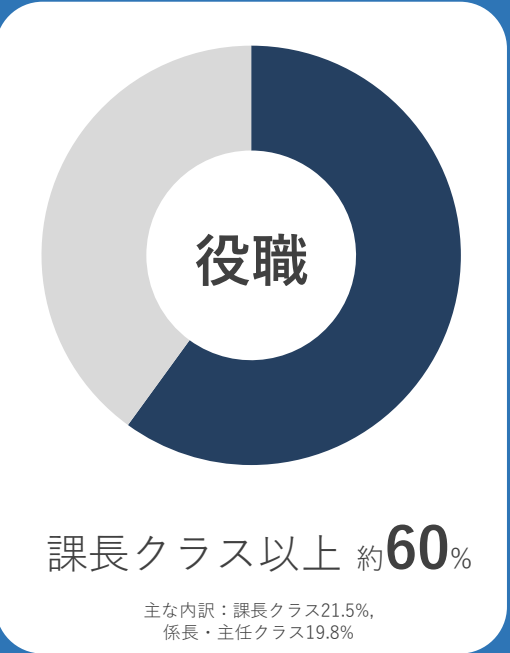
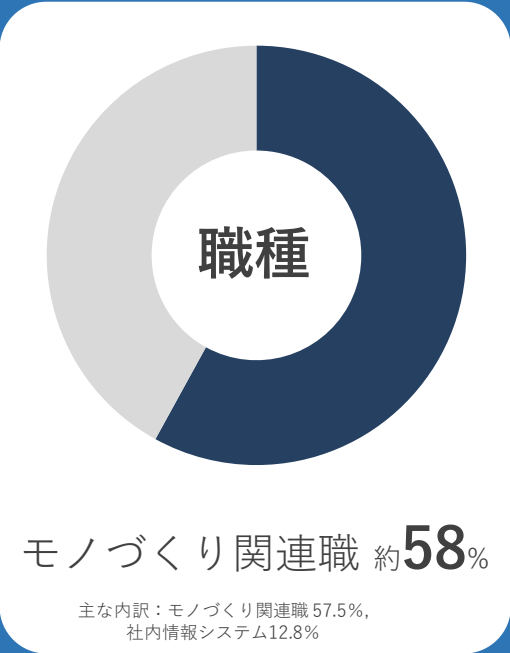
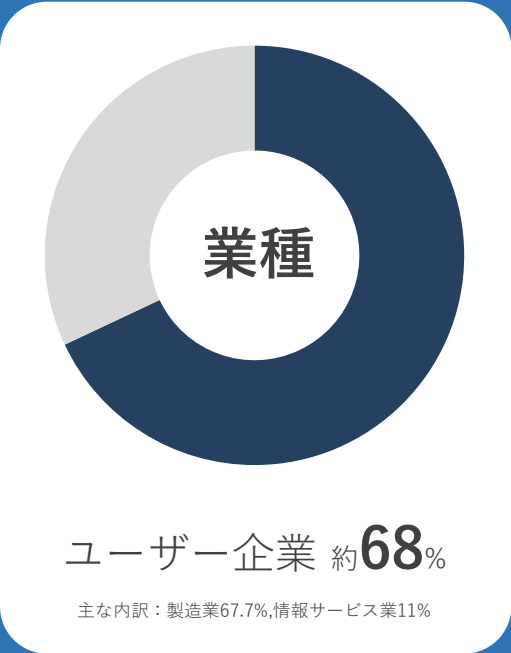
PwC「サプライチェーンのデジタルトレンド調査2023」 ※300名以上の経営幹部やリーダーが対象では、企業はデジタル時代のサプライチェーンレベルを向上させるために、多くの取り組みが必要になることを意識している一方、回答の中にはまだ多くの課題を抱えていることがうかがえます。（下記参照）

PwC サプライチェーンのデジタルトレンド調査 2023より

日本の“モノづくり”を支援する専門情報メディア



■ 媒体名	MONOist
■ URL	https://monoist.itmedia.co.jp
■ PV	約196万 PV/月 約72.3万 UB/月 ※2024年3月実績
■ 年齢層	40-50代ボリュームゾーン



MONOist編集部は、常々サプライチェーンを取り巻く問題、情報について記事を取り上げ続けております



MONOist編集部では、パンデミックやインシデントが製造業へ与える課題、つきつけられた課題に対する取り組みの最新情報も発信しておりました。常に変化を見守ってきた編集部だからこそ、わかる情報を視聴者へ

■ 掲載記事

コロナ禍で増減する需給にどう対応するか、コニカミノルタのサプライチェーン変革（前回セミナーレポート）
<https://monoist.atmarkit.co.jp/mn/articles/2102/24/news008.html>

コロナショックが明らかにした「サプライチェーンリスクマネジメント」の重要性
<https://monoist.atmarkit.co.jp/mn/articles/2004/06/news015.html>

パンデミックに耐えるサプライチェーンのリスクマネジメントとは
<https://monoist.atmarkit.co.jp/mn/articles/2004/16/news021.html>

新型コロナ対策にこそ、5G/IoT/AIが活用されるべき
<https://eetimes.jp/ee/articles/2003/18/news033.html>

新型コロナ影響が2カ月で拡大、在宅勤務やコミュニケーションに課題も
<https://monoist.atmarkit.co.jp/mn/articles/2006/02/news050.html>



特設サイト
<https://monoist.atmarkit.co.jp/mn/subtop/features/covid19/index.html>

タイムテーブル

時間	枠時間	DAY1	DAY2
13:00-13:40	40分	基調講演	基調講演
13:50-14:20	30分	スポンサーセッション1-1	スポンサーセッション2-1
14:30-15:00	30分	スポンサーセッション1-2	スポンサーセッション2-2
15:10-15:40	30分	スポンサーセッション1-3	スポンサーセッション2-3

※ご協賛社様の状況に応じて、主催者セッションの実施枠数は調整させていただく可能性がございます。
※上記タイムテーブルは変更となる可能性がございます。
※ご協賛社様が1社で開催を行う場合、集客人数の調整を行わせていただきます。

ご協賛メニュー

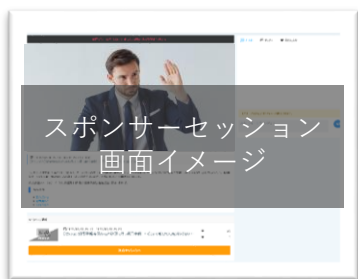
	おすすめ セッションプラン	リストプラン
スポンサーセッション　Live配信＋アーカイブ	●	-
全申込者リスト	300名想定	300名想定
セッションアンケート	●	-
視聴者データ・レポートサイト	●	-
事前アンケート結果	●	●
スポンサーロゴ掲載	●	●
資料配布	●	-
開催報告書	●	●
料金（すべて税別・グロス価格）	¥2,400,000-	¥1,800,000-

※お申込者数は想定値となります。
※ご協賛状況により、実施は見合わせする場合がございます。事前のご了承、およびお申込み締切にご協力頂けますようお願いいたします。
※スポンサー数に応じて、プログラムは適宜変更いたします。

ご協賛メニュー詳細

| スポンサーセッション

- 製品やサービスをPRできるスポンサーセッション枠をご利用可能



| 全申込者リスト

- イベントに申込みをされた全申込者の名刺情報のリストをご提供
- ご提供情報：
名前・会社名・部署・役職・住所・電話番号・メールアドレス・業種・職種・役職クラス・従業員規模・関与・年商規模など
- イベント終了後3～5営業日以内にExcelデータ形式にて納品

| 視聴者データレポートサイ

- セッションのレポートサイトをご提供
- ご提供情報：
会社名・部署名・役職・電話番号・メールアドレスなどの名刺情報
※DL可能

| セッションアンケート

- 貴社のセッション枠の時間内に独自のアンケートを実施
- 単一回答・複数回答・自由回答の3種類を組み合わせる自由で設定可能
- アンケートボタンを押すと、ポップアップで表示

| 事前アンケート結果

- 事前登録時に製品選定における立場など（BANT情報）等も合わせてご提供

※アイティメディア側で設定のため個別設定不可

| スポンサーロゴ掲載

- イベントの集客サイトに貴社のロゴを掲載、貴社サイトへのリンクを設定可能

| 資料配布

- 貴社セッション内で視聴者に向けて資料の配布が可能
- 配布点数：ご講演資料+3点まで
- PDFデータを送付いただきダウンロードリンクとするほか、貴社の指定外部リンクを設定することも可能

| 開催報告書

- アイティメディアで一般来場者へアンケートを実施 集計結果を開催報告書として会期終了後にご提供
- 個人情報は含まない集計データでの提供

※画像はイメージです。

オプションメニュー1

| 貴社セッションmp4動画納品

- セッションありのプランにお申込み頂き、実際に配信した貴社のLIVEセッションの録画データを納品。
- mp4形式
- 配信時のままの状態となるため編集不可。

料金 **¥50,000**

| セッション収録サポート

- 30分のセッション動画の収録をサポート。
- 専用のプロ機材と収録会場を提供
- オンラインでの収録も対応。
- 開催日の1.5カ月前までのお申込み必須。
- 講演者が2名以上の場合など、収録内容に応じて追加費用が発生する場合がございます

料金 **¥180,000~**

| リード情報×主催アンケート回答情報付与

- 納品されるリード情報に、主催アンケートの回答情報を付与して納品
- リード情報納期は、セミナー閉幕日の3-5営業日後に納品
- アンケート回答情報 納期は、セミナー閉幕日の2-3週間後を目途に追って納品

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbw2>

料金 **¥200,000~**

| リード カスタム納品

- イベントで入手したリードをMAツールへ直接納品や、貴社フォーマットにあわせて加工して納品
- 弊社パートナーのデータ連携ツールを介してリード情報を納品

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvy>

リード件数によって金額は変動

料金 500件~ **¥100,000~**

| アフターフォローセミナー

- 貴社の訴求と読者の関心に合わせた企画を編集部が設計し、アイティメディアが集客・配信までサポート。
- パネルディスカッションや30分のセッション動画の収録も可能。
- プロ機材と収録会場を提供。

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2022-01-30/281s4xh>

¥2,450,000

料金 **¥2,300,000**

※画像はイメージです ※オプションのみでのお申込みはできません（すべて税別・グロス価格）

オプションメニュー2

| セッション動画活用リード獲得 | タイアアップ プッシュ ターゲティング & ABM | セッションパンフレット作成（製造・建設関連） | 産業テクノロジーメディア横断 PV保証タイアアップ

- 講演動画や資料をTechFactoryに転載するサービス。
- セミナー後も継続的な【属性&件数を保証したリード獲得】が可能。

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-04-30/2czfbvr>

料金

¥1,100,000

¥900,000

- 貴社のセッションを基にタイアアップ記事を制作し、閲覧者属性を指定してHTMLメールで配信。
- 狙いたいターゲット属性をターゲティングして貴社セッション内容をお届け
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvy>

料金

¥1,300,000~

- 貴社のセッションをパンフレットとして制作し、印刷用データ（PDF/x）を納品
- 取材内容はタイアアップ記事広告としてメディアにも掲載
- 読者への認知獲得も狙える
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<https://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvy>

料金

¥1,200,000

- 貴社のセッションを基にタイアアップ記事を制作
- モノづくり・建築などの産業テクノロジー関心層が多く集まるメディア横断でタイアアップ記事への誘導
- 記事掲載メディア：イベント主催メディア
- 条件：セッションありプランにご協賛

詳細：<http://go.itmedia.co.jp/l/291242/2024-06-04/2czqsvk>

3,000PV保証

¥1,500,000

¥1,300,000

※画像はイメージです ※オプションのみでのお申込みはできません（すべて税別・グロス価格）

お申込みからの流れ

申込締切

2024年8月30日(金)

ご出展意思を担当営業にお伝えください。
後日弊社より発注書が送付されますので
DocuSignにご署名のうえご返送ください。

告知準備

セッションの講演者情報、講演タイトル、
貴社ロゴデータ等と合わせてご提出いただき、
セッション登録用紙を事務局へご提出
ください。

告知開始

2024年10月上旬頃

事務局にてイベント告知サイトをオープンいたします。
同時に視聴希望者の事前登録も開始いたします。
視聴者の登録促進のため、インセンティブを使用する場合がございます。

開催準備

2024年月10中旬頃

配布資料・視聴者向けセッションアンケート
設問・動画納品など**講演に関する情報**を事務局
にご提出ください。

※開催2週間前程度

開催2営業日前までにレポートサイト情報もお送りいたします。

開催

2024年11月6日(水)～ 11月7日(木)

ライブ講演いただく場合は、事務局よりご案内する時間までにアイティメディアのスタジオ受付にお越しください。

レポート

会期終了3～5営業日以内に**事前申込者リスト**をご提出いたします。終了後1～2週間程度、セッションのアーカイブ配信を行います。
※予定

開催報告書は集計後、別途営業担当よりご提出いたします。

上記スケジュールは目安であり、状況によって変更になる可能性があります

過去開催



タイトル	サプライチェーンの革新 ～資材高騰・部品不足に対するレジリエンスとは～
日時	2023年11月6日（月）～ 11月7日（火） ※11月15日まで アーカイブ配信
対象	製造業の調達や物流部門、サプライチェーン担当者、その他 モノづくり関連職
主催	MONOist
全申込者数	373人
視聴者数	287人
協賛 (※50音順)	株式会社Shippio 株式会社Spectee ダッソー・システムズ株式会社 Blue Yonderジャパン株式会社
申込みページ URL	https://v2.nex-pro.com/campaign/60005/apply?group=2311_SUPPLY

- AGC
- aPriori Technologies
- DMG MORI Digital
- DOWAマネジメントサービス
- FLEXCEED
- Goertek Technology Japan
- IBS
- IHI回転機械エンジニアリング
- i-PRO
- JA東日本くみあい飼料
- JSR
- Kioxia Holdings oration
- LIXIL
- NECソリューションイノベータ
- NECプラットフォームズ
- NFブロッサムテクノロジーズ
- OKIネクステック
- OMデジタルソリューションズ
- SAP Japan
- SUBARU
- TANAX
- TBK
- TB播州電装
- TOPPANエッジ
- VAI0
- アイ・エス・ビー
- アステック
- アズビル
- アツミテック
- アビームシステムズ
- アルメックス
- エース
- エース産業
- エヌアイシ・オートテック
- エブレン
- エルピーエステック
- オムロン
- オムロンソーシャルソリューションズ
- オリエンタルペーカリー
- オリンパス
- カシオ計算機

- カルビー 広島工場
- キオクシア
- キヤノン
- キヤノンITソリューションズ
- クボタ
- クラシエ
- クラレ
- グローリー
- コカ・コーラボトラーズジャパン
- コニカミノルタジャパン
- コベルコ建機
- サンデン
- ジェイ・アール・シー特機
- ジェイテクト
- シャープエネルギーソリューション
- シュッツ・コンテナ・システムズ
- スギノマシン
- スター精密
- スタンレー電気
- セイコーエプソン
- セイコータイムクリエーション
- セメダイン
- ソシオネクスト
- ソニーセミコンダクタソリューションズ
- ダイキョーニシカワ
- ダイフク
- ダイヘン
- タイム技研
- ダッソーシステムズ
- タビルス
- チノー
- デラバル
- デルテクノロジーズ
- デンソー
- デンソーテン
- トーヨーカネツ
- トーヨーケム
- トプコンポジショニングアジア
- トヨタテクニカルディベロップメント
- ナルックス
- ニコン

※順不同

※申込時に申込者が選択した「業種」を参考に分類しています

- ニットー冷熱製作所
- ネクストエナジーアンドリソース
- パナソニック
- パナソニック インダストリー
- パナソニックインダストリアルマーケティング&セールス
- パナソニックオートモーティブシステムズ
- パナソニックオペレーショナルエクセレンス
- パナソニックコネクト
- ビークルエナジージャパン
- ヒロセ電機
- ファイザー
- フジムラ製作所
- フタバ産業
- ブラザー工業
- プリデストン
- ベルソニカ
- ホーユー
- ホシデン
- マイクロンメモリ ジャパン
- マルヤス工業
- ミズノ
- ミネベア アクセスソリューションズ
- メック
- メニコン
- ヤマハ
- リオン
- リコー
- リズム
- ローム
- ローランド ディー.ジー.
- ワコム
- 愛三工業
- 旭化成
- 荏原製作所
- 荏原冷熱システム
- 応用技術
- 横河電機
- 沖電気工業
- 久原本家グループ本社
- 京セラ
- 京セラドキュメントソリューションズ
- 計測エンジニアリングシステム

過去開催

■ 申込企業（製造業）一覧 - 2/2

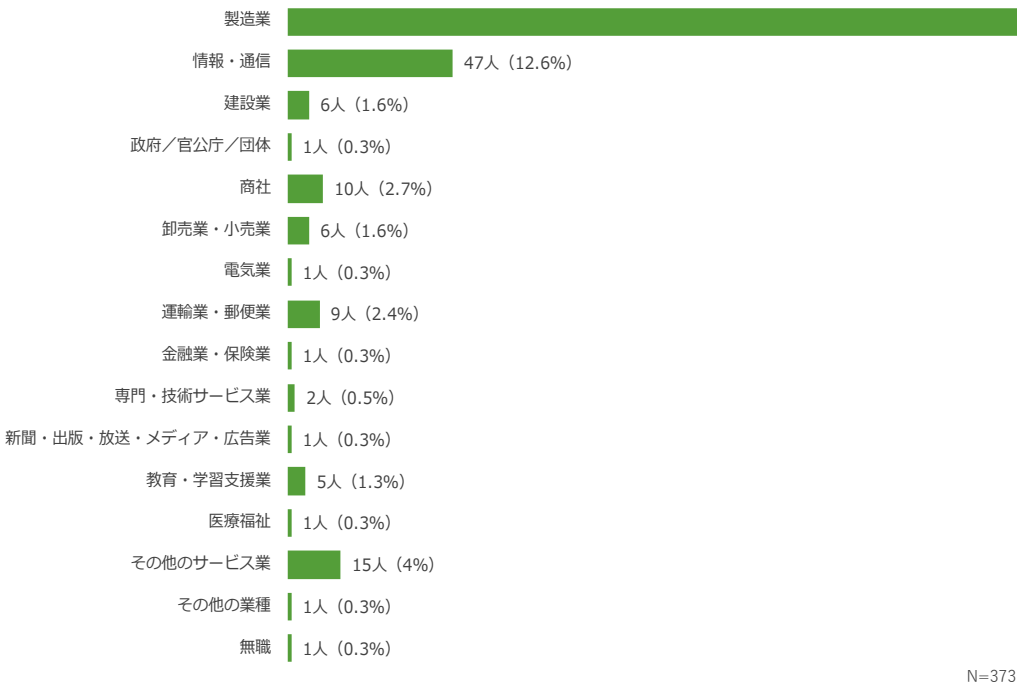
- 現代文化研究所
 - 江崎グリコ
 - 合同酒精
 - 三井・ダウポリケミカル
 - 三共理化学
 - 三菱ケミカル
 - 三菱マヒンドラ農機
 - 三菱重工業
 - 三菱電機
 - 三菱電機エンジニアリング
 - 三菱電機名古屋製作所
 - 三洋化成工業
 - 山一精工
 - 山洋電気
 - 篠原電機
 - 柴田科学
 - 酒井医療
 - 住友ゴム工業
 - 出光興産
 - 小糸製作所
 - 小松製作所
 - 小野薬品工業
 - 小林クリエイト
 - 小林製薬
 - 神戸製鋼所
 - 清水工業
 - 石垣
 - 積水化学工業
 - 赤阪鐵工所
 - 雪印メグミルク
 - 川崎重工業
 - 村田製作所
 - 太陽誘電
 - 大成ラミック
 - 大同メタル工業
 - 大日本印刷
 - 第一工業
 - 沢井製薬
 - 中外
 - 中日電熱
 - 中日本炉工業
- 朝日レントゲン工業
 - 電業社機械製作所
 - 東レ
 - 東レエンジニアリング
 - 東京エレクトロン
 - 東光高岳
 - 東芝
 - 東芝テリー
 - 東芝ライフスタイル
 - 東洋新薬
 - 藤津碍子
 - 内山工業
 - 日の出屋製菓産業
 - 日亜化学工業
 - 日産自動車
 - 日新技研
 - 日星電気
 - 日清製粉グループ本社
 - 日東ロジコム
 - 日東工業
 - 日本ノズル
 - 日本酸素ホールディングス
 - 日本触媒
 - 日本新薬
 - 日本電気
 - 日本電子
 - 日油
 - 日立ハイテク
 - 日立製作所
 - 尾張精機
 - 富士通
 - 富士通Japan
 - 富士通フロンテック
 - 武蔵精密工業
 - 平福電機製作所
 - 豊田
 - 豊田自動織機
 - 北陽電機
 - 本多電子
 - 本田技研工業
 - 明電舎

※順不同
※申込時に申込者が選択した「業種」を参考に分類しています

- 矢崎エナジーシステム
- 矢崎計器
- 利根工業
- 理研計器

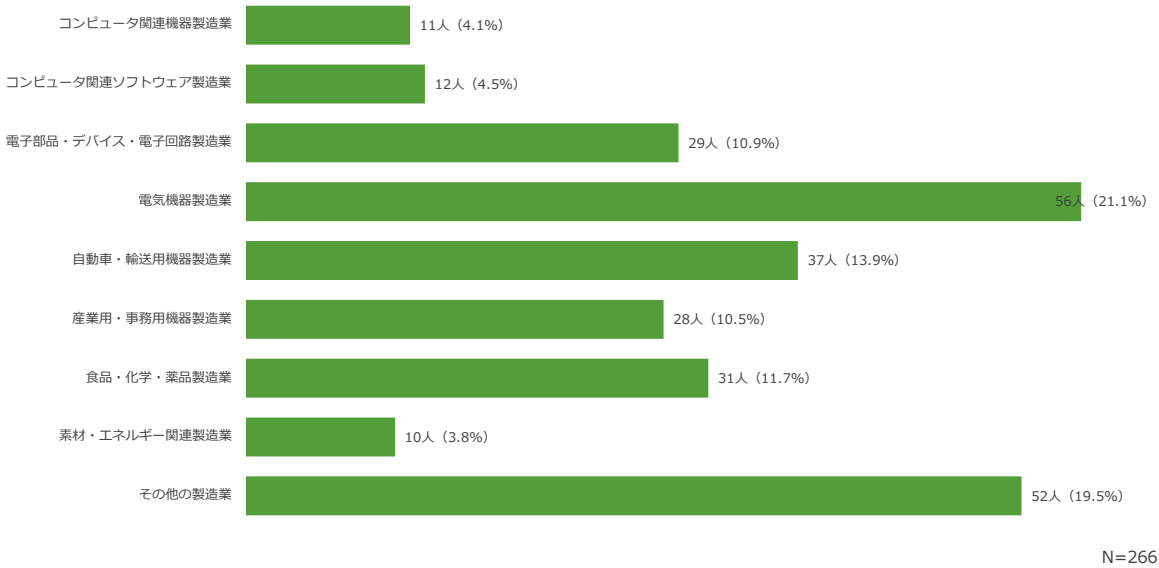
過去開催

業種



「製造業」の方が7割を占めており、ターゲット層を集めることができました。

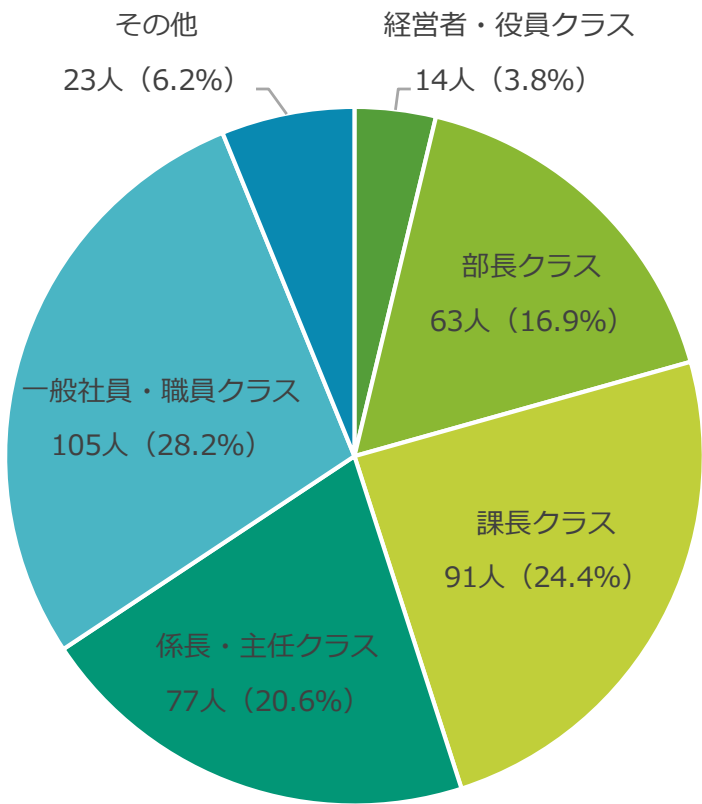
製造業詳細



製造業のなかでは「電気機器製造業」の方が最も多く56人（21.1%）、次いで「その他の製造業」の方から多くのお申し込みをいただきました。

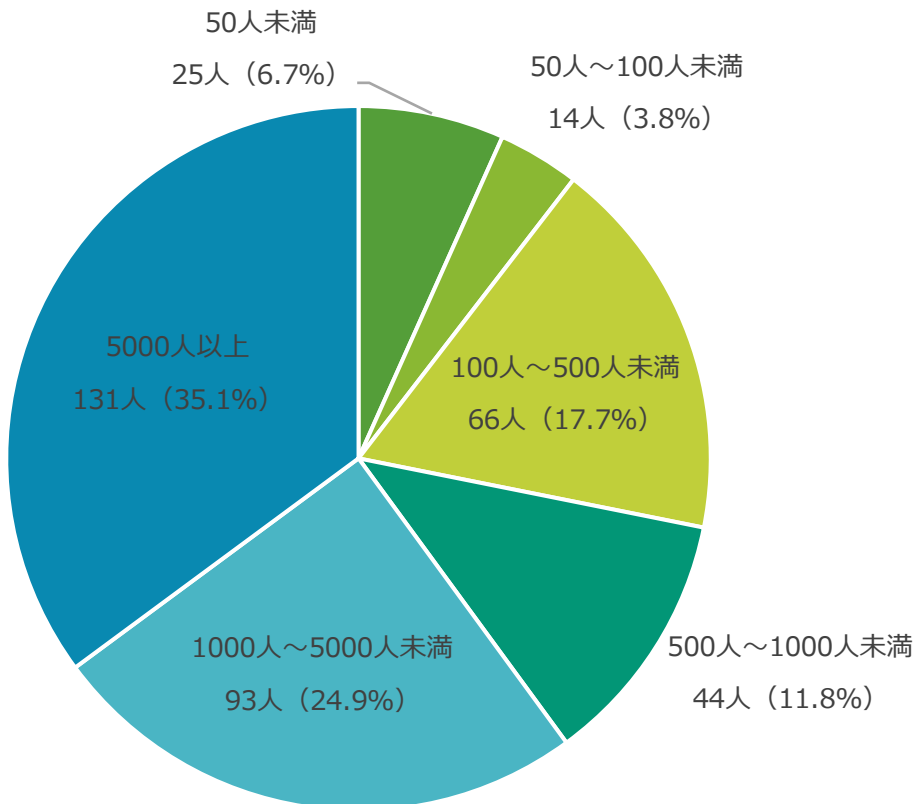
過去開催

■ 役職



部課長職以上の役職者は168人で、全体における割合は4割を超える結果となりました。

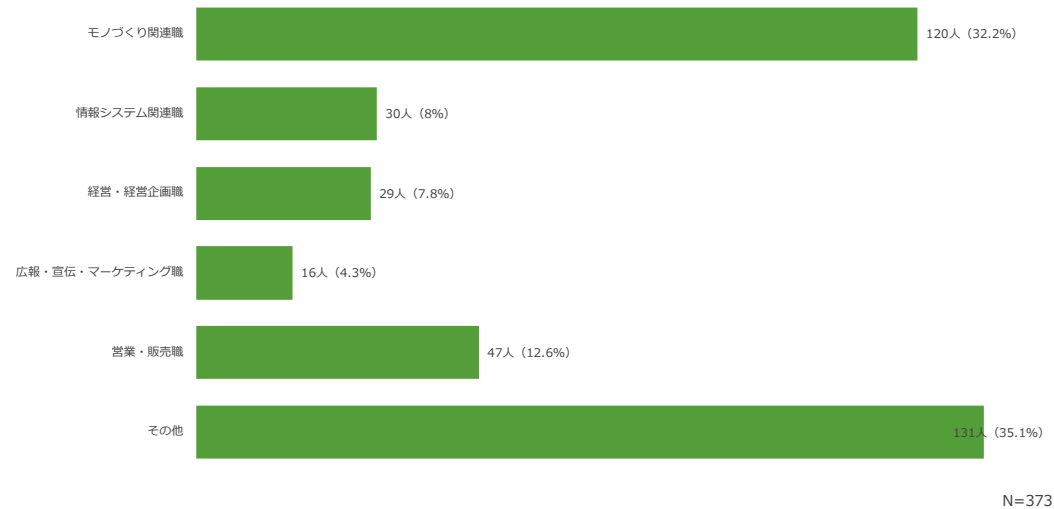
■ 従業員規模



5000人以上の大企業にお勤めの方が最も多く、131人（35.1%）でした。次いで、1000～5000人未満の企業にお勤めの方は93人（24.9%）となり、1000人以上規模の企業の方からの申し込みが60.0%となりました。

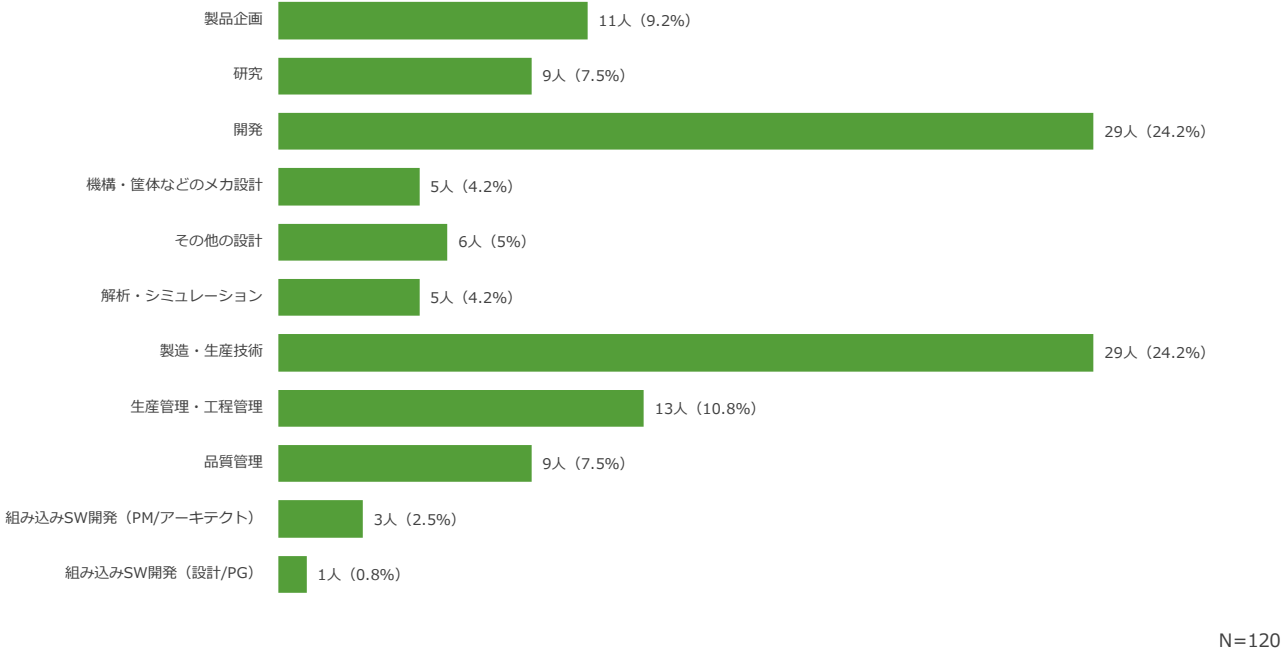
過去開催

■職種



「モノづくり関連職」の方3割以上を占めており、ターゲット層からのお申し込みを多くいただきました。

■職種（モノづくり関連職詳細）



モノづくり関連職のなかでは「開発」「製造・生産技術」の方が最も多く29人（24.2%）でした。

ご留意事項

｜キャンセル料につきまして

以下の条件のいずれかに該当する場合、キャンセル料が発生しますので、ご了承ください。

発注書の取り交わし後のキャンセル
登録用紙の提出後のキャンセル
事務局案内開始後のキャンセル

その場合のキャンセル料は以下の通りです。

開催日41日前までのキャンセル : 50%
開催日40日以内のキャンセル : 100%

ただし、上記キャンセル料を超える実費（会場キャンセル料、講師アサインキャンセル料など）が発生する場合には、その追加費用も含めたキャンセル料を請求いたします。

｜消費税につきまして

消費税は別途申し受けます。

｜配信プラットフォームにつきまして

会場構成、運用システム等を含む配信プラットフォームは、都合により変更する場合がございます。

｜オンラインでのセミナー配信リスクにつきまして

ライブ配信は常にリスクが伴います。以下にリスクを明示するとともに、当社の対策を記載いたしますので、予めご了承のほどよろしくお願いいたします。

リスク1：インターネット回線およびインターネットサービスプロバイダーにおける障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク2：ライブストリーミングプラットフォームにおける障害

配信中にバッファをためておくことで、ユーザー環境によって映像の途切れや音声途切れの現象を軽減します。
障害対策として常にバックアップ配信ができるようにシステムを冗長化していますが、万が一配信プラットフォームが落ちた場合は視聴者にメールにて配信停止のお詫びを送付し、後日オンデマンド版を案内いたします。

リスク3：電源障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
バックアップPCから配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

リスク4：機材障害

映像・音声ともに落ちてしまう可能性があります。
直ちにバックアップPCおよびバックアップ回線での配信に切り替えます。

リスク5：視聴側における障害

総視聴数に対する単独（10%以下）の視聴不良はそれぞれの環境に起因する可能性が高いので、問い合わせに対して個別対応いたします。
10件単位で同様の症状がみられる（現場でご報告いただいた）場合は、配信停止のお詫びをアナウンスし、後日オンデマンド版をご案内いたします。

メールでのお問い合わせ

mail : sales@ml.itmedia.co.jp

アイティメディア株式会社 営業本部

デジタルイベントの最新情報はこちら
<https://promotion.itmedia.co.jp/plan>